株主メモ
SHAREHOLDERS MEMO

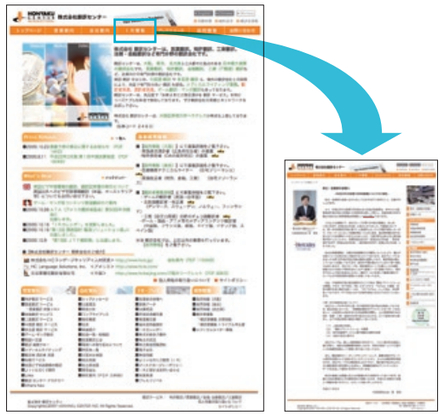
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当　毎年3月31日 中間配当を行う場合　毎年9月30日 （その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。）
公告方法	電子公告の方法により行います。 ホームページアドレス　http://www.honyakuctr.com ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	電話　0120-78-2031（フリーダイヤル） 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
上場証券取引所	大阪証券取引所 ニッポン・ニュー・マーケット－「ヘラクレス」
証券コード	2483

・住所変更等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

見通しに関する注意事項
この報告書には、翻訳センターグループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で入手可能な情報から判断した見込みであります。世界経済の動向、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を際限なく含んでおり、実際の業績や結果は当社の見込みと異なる可能性があることをご承知おきください。

ホームページのご案内



▲トップページ　▲IR情報ページ

当社ホームページにおきましても最新のトピックスをはじめ、様々な情報をご案内しております。

詳しくは ▶▶▶ 翻訳センター　検索

http://www.honyakuctr.com

HONYAKU CENTER
New Standards in Translation

株式会社 翻訳センター
お問合せ先　本社
〒541-0046
大阪市中央区平野町2丁目5番8号
平野町センチュリービル9F
Tel：06-6204-1640
e-mail：info@honyakuctr.co.jp

第24期 期末のご報告

2009年4月1日～2010年3月31日

株式会社 翻訳センター

HONYAKU CENTER
New Standards in Translation

当社のノウハウを結集した高付加価値サービスで収益基盤の確立を目指します。

代表取締役社長
東 郁男

翻訳需要の獲得を目指し 翻訳支援ツール「HC TraTool」の運用を開始

株主のみなさまには、ますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。日頃より温かいご支援、ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、わが国の経済は、アジア向けの輸出増加など一部の経済指標に持ち直しの傾向が顕著となった一方で、為替リスクやデフレ懸念が続いています。翻訳業界におきましても、企業業績の悪化による研究開発や設備投資の抑制、作業内製化による翻訳需要の減少など、厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループでは、顧客ニーズに対応した高付加価値サービスの提案を推進するとともに、翻訳支援ツール「HC TraTool」の運用を開始し、各企業の海外進出に伴う翻訳需要の獲得に努めてまいりました。

しかしながら、翻訳需要減少の影響は大きく、第24期の当社グループの売上高は4,239百万円（前期比5.8%減）となりました。営業利益につきましては、経費削減努力により販売管理費は抑制できたものの、売上高減少を吸収できなかったことから、236百万円（前期比25.3%減）、経常利益は239百万円（前期比23.9%減）となりました。当期純利益は米国子会社をはじめとする連結子会社で収益面が向上したものの、特別損失を計上したことから105百万円（前期比32.5%減）となりました。

積極的な営業展開により 主要4分野のシェア拡大を図る

第25期の経営環境は、顧客企業の設備投資への予算抑制傾向は続き、厳しい状況が継続するものと思われますが、当社グループでは、積極的な営業展開により潜在需要の掘り起こしに努めてまいります。まず特許分野では、出願元企業の予算抑制が予想されますが、特許出願支援サービスなどの新規営業展開と新たな顧客への働きかけにより顧客数の増加を図ります。医薬分野では、新興国の需要増加による市場成長の期待を受け、メディカル・ライティングなどの高付加価値サービスと、メガファーマへの集中購買化提案を軸として拡販に注力します。工業分野では、自動車関連産業の予算抑制が継続するものと思われますので、引き続き他産業分野へのサービス展開を強化いたします。金融分野では、業界団体との特約店契約など営業チャネルの拡大を図り、受注件数の回復に加え売上の安定化を図ってまいります。

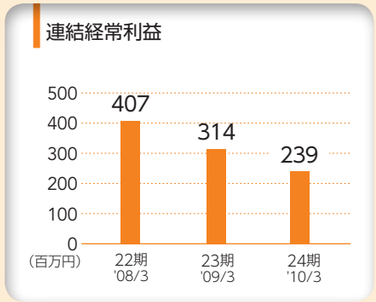
これらの取り組みにより、売上高につきましては、前期比8.5%増の4,600百万円、営業利益は前期比5.5%増の250百万円、経常利益は前期比4.5%増の250百万円、当期純利益は前期比27.8%増の135百万円を見込んでおります。

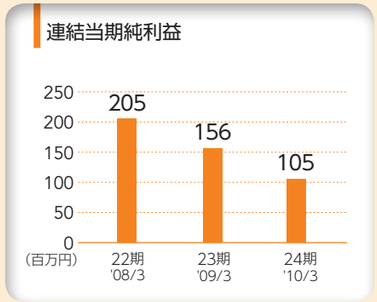
顧客満足度の高い翻訳サービスの提供により 顧客の企業価値や競争力向上に貢献

収益基盤を強化するためには、当社独自の業務フローである「翻訳プラットフォーム」の構築が必要です。これは、当社グループが保有する翻訳ノウハウや情報資産をデータベースとして活用するもので、品質水準を満たした翻訳の安定供給と、翻訳者の作業効率向上に役立つと考えています。昨年11月よりプラットフォームの中心となる翻訳支援ツール「HC TraTool」の運用を開始しましたので、今後はデータベースを拡充し、運用を拡大しながら顧客サービスの充実を図ってまいります。また現在、当社グループは国内に3拠点、海外に2拠点あり、それぞれの特徴を活かした営業を展開しております。次期以降も市場規模と収益性を考慮しながら、新たな拠点開設を国内外問わず検討していく方針です。

経済環境の不透明感は続いておりますが、日本企業のグローバル展開や外国企業による日本市場への参入は、各企業にとって重要な戦略であることに変わりはなく、産業技術翻訳業界の環境は短期的には厳しい局面にあるものの、中・長期的には底堅く推移していくものと思われます。当社グループは、今後とも顧客満足度の高い翻訳サービスを提供することにより、顧客の企業価値や競争力向上に貢献し、業績向上を目指してまいります。

財務ハイライト





特許分野 PATENT

特許分野では、ソースクライアントである企業の外国出願見送りによる翻訳需要の著しい減少により、主な顧客である特許事務所からの受注が低迷したことから、売上高は前期比17.3%減の1,337百万円となりました。

13.3億円
31.6%

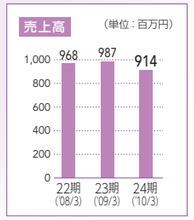
主な翻訳対象

- 特許明細書
- 優先権証明書
- 特許庁手続書類
- 特許公報

工業分野 INDUSTRY

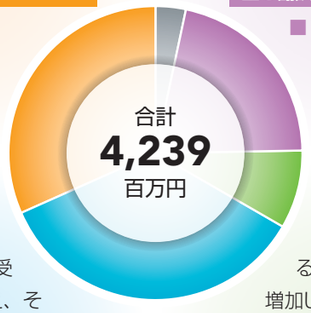
工業分野では、第1四半期に受注した電気機器関連企業からの大型スポット案件に加え、オンラインゲームやコミックなどのコンテンツ関連企業からの受注が大幅に増加しましたが、自動車関連企業からの受注が著しく低迷したことや企業の予算抑制による案件の小口化が影響したことから、売上高は前期比7.3%減の914百万円となりました。

9.1億円
21.6%



主な翻訳対象

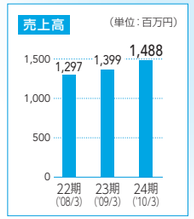
- 取扱説明書
- 仕様書
- 契約書
- 規格書
- 研究論文



医薬分野 MEDICAL

医薬分野では、高付加価値サービスのひとつであるメディカル・ライティング案件の受注が順調に増加したことに加え、その相乗効果による既存顧客の拡販が奏功したため、売上高は前期比6.4%増の1,488百万円となりました。

14.8億円
35.1%



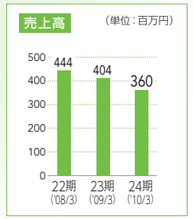
主な翻訳対象

- プロトコール・スタディレポート
- PMS関連資料
- 医薬学術論文
- 医療機器の取扱説明書 など

金融分野 FINANCIAL

金融分野では、ディスクロージャー資料や保険法改訂による約款変更に伴った翻訳需要が増加しましたが、国内外の金融機関や法律事務所からの受注が落ち込んだことから、売上高は前期比10.8%減の360百万円となりました。

3.6億円
8.5%



主な翻訳対象

- 銀行・証券・保険関連資料
- 財務・会計関連資料
- ディスクロージャー関連資料
- 各種契約書
- 法務文書 など

翻訳の品質向上と安定化を実現する翻訳支援ツール

『HC TraTool』を導入

産業技術翻訳は、世界にひとつしかない原稿を『言語』というツールで製品化していくカスタムメイドな部分を持ち合わせています。小説や字幕の翻訳では解釈の「幅」が容認されることもありますが、産業技術翻訳ではひとつの解釈の相違や誤認が大きな損失を招く危険性もあり、翻訳の品質安定が常に課題となっています。

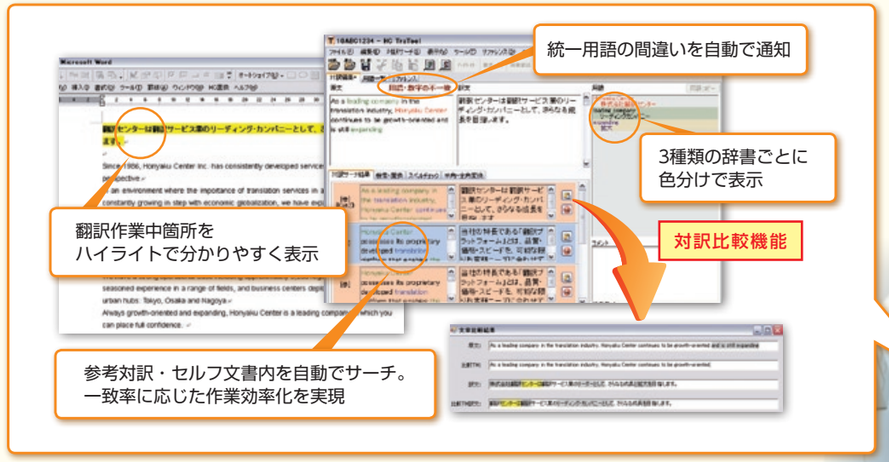
そこで、弊社は翻訳支援ツールの開発に着手し、昨年11月より翻訳支援ツール「HC TraTool」の運用を開始しました。この「HC TraTool」は、過去の対訳をデータベース化した翻訳メモリ（Translation Memory：TM）や用語集を使って翻訳作業を行うことで、産業技術翻訳の仕上がりを左右する専門用語や繰り返しの文章の統一に威力を発揮し、翻訳文の品質安定を実現します。また、この「HC TraTool」を使って翻訳することで、新たなTMが蓄積され、次回以降の案件や類似案件への活用が可能となります。

HC TraToolの特徴

〈2010年3月時点での比較〉

	HC TraTool	他社ツール（注1）
検索方法	センテンス検索とフレーズ検索	センテンス検索のみ
修正作業のしやすさ	○	△
用語集の使いやすさ	○	△
TMの扱いやすさ	○	△
ツールの操作性	やさしい	難しい
価格	無料（注2）	有料

※ツールの使用感には個人差があります
注1：翻訳業界で最も使われている翻訳支援ツールを想定
注2：当社グループの顧客とご登録の翻訳者に限定して配布



グループシナジーを活かして、お客様のニーズに対応しております

当社グループは、翻訳業界のリーディングカンパニー「株式会社翻訳センター」を核に、相互に連携し、
顧客企業のグローバル展開を側面から支援しています。

翻訳・通訳・テープ起こし、医学論文海外学術誌投稿サービス

株式会社国際事務センター（IDC）

（日本・東京）

品質を重視した翻訳サービスを提供

- 英文校閲、医学論文海外学術誌投稿、テープ起こし、ナレーション吹き込みなどのサービスを提供
- お客様のさまざまなご要望にも柔軟に対応

http://www.i-idc.co.jp

米国における翻訳サービス

HC Language Solutions, Inc.

（アメリカ・サンフランシスコ）

サンフランシスコを拠点に満足度の高いサービスを提供

- 専任の営業と経験豊富なコーディネータが、受注から納品まで一貫して担当
- 日本との時差を利用して、短納期にも対応
- 専門分野に精通したチェッカー、校正担当者が社内に常駐し、高品質な翻訳を提供

http://www.hcls.com

特許・医薬・工業・金融に特化した翻訳サービスと人材派遣

HONYAKU CENTER
New Standards in Translation

中国における翻訳サービス

北京東櫻花翻訳有限公司（HC Beijing, Inc.）

（中国・北京）

- 日本語と中国語が堪能なスタッフで構成し、中日両国どちらからのご要望にも柔軟に対応
- 在中のメリットを活かし、迅速な対応とリーズナブルな価格を実現
- 中国国内の優秀な翻訳リソースを活用し、対中ビジネスに求められる高品質な翻訳を提供

http://www.hcbeijing.com

人材派遣・紹介予定派遣・翻訳者養成

株式会社HCランゲージキャリア（HCLC）

（日本・東京）

- 多少の外国語を使う業務からより高度な翻訳・通訳業務専門の人材まで、外国語に秀でた人材を提供
- 専門分野に精通した人材の提供
- グループのネットワークを活かし、突発的な人員補充にも対応

http://www.hclc.jp

2009年度の翻訳センターの主なIR活動をご報告します

2009
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
2010
1月
2月
3月

4月
大和インベスター・リレーションズ（株）
「2009年インターネットIRサイトの優秀企業580社」に選定

5月14日
第23期決算発表

5月26日
第23期決算説明会（東京）

6月25日
第23回 定時株主総会

7月15日
（社）日本証券アナリスト協会主催
「第10回一般個人向け説明会」

8月11日
第24期 第1四半期決算発表

7月24日
（株）新光総合研究所主催
「個人投資家向けIRセミナー」

9月15日
（社）日本証券アナリスト協会主催
「第5回一般個人向け説明会（大阪）」

11月12日
第24期第2四半期決算発表

11月27日
第24期第2四半期決算説明会

2月10日
第24期第3四半期決算発表

3月16日
（社）日本証券アナリスト協会主催
「第14回一般個人向け説明会」

3月17日
（社）日本証券アナリスト協会主催
「第8回一般個人向け説明会（大阪）」

Internet IR 優秀企業賞 2009 Daiwa Investor Relations

連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科　目	当　期 2010.3.31現在	前　期 2009.3.31現在
資産の部		
流動資産	1,940,969	1,818,902
① 固定資産	425,604	460,706
有形固定資産	47,334	59,249
無形固定資産	174,667	157,089
投資その他の資産	203,602	244,366
資産の部合計	2,366,574	2,279,608

科　目	当　期 2010.3.31現在	前　期 2009.3.31現在
負債の部		
流動負債	582,110	561,063
固定負債	127,025	114,815
負債の部合計	709,135	675,878
純資産の部		
株主資本	1,662,420	1,609,191
資本金	399,818	399,818
資本剰余金	290,198	290,198
利益剰余金	972,404	919,175
評価・換算差額等	△ 4,982	△ 5,461
その他有価証券評価差額金	△ 1,783	△ 2,549
為替換算調整勘定	△ 3,198	△ 2,911
純資産の部合計	1,657,438	1,603,729
負債・純資産の部合計	2,366,574	2,279,608

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

Point ① 固定資産

前期より開発を進めてまいりました翻訳支援ツール「HC TraTool」が当期に完成、運用を開始しております。固定資産につきましては、投資有価証券の減損処理を実施したことにより、35百万円減少の425百万円となりました。

Point ② 営業利益

企業業績の悪化による研究開発や設備投資関連予算の抑制、企業での作業内製化による翻訳需要の減少など厳しい経営環境下、当期の連結売上高は261百万円減少の4,239百万円となり、経費削減により販売管理費の抑制はできたものの、売上高の減少を吸収できなかったことから、営業利益は80百万円減少の236百万円となりました。

Point ③ 当期純利益

米国子会社（HC Language Solutions,Inc.）をはじめとする連結子会社の収益面が向上したものの、投資有価証券の減損処理による特別損失を計上したことから、50百万円減少の105百万円となりました。

Point ④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは166百万円の収入となりましたが、主な要因としては税金等調整前当期純利益が202百万円と前期より106百万円減少しましたが、経費削減等による販売管理費の抑制や法人税等の支払が前年に比べ減少したこと等によるものであります。

連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科　目	当　期 2009.4.1～2010.3.31	前　期 2008.4.1～2009.3.31
売上高	4,239,171	4,501,170
売上原価	2,301,295	2,381,570
売上総利益	1,937,876	2,119,600
販売費及び一般管理費	1,700,951	1,802,161
② 営業利益	236,924	317,439
営業外収益	2,234	4,163
営業外費用	130	7,335
経常利益	239,029	314,267
特別利益	650	—
特別損失	37,263	5,742
税金等調整前当期純利益	202,415	308,525
法人税、住民税及び事業税	100,554	137,754
法人税等調整額	△ 3,748	14,206
③ 当期純利益	105,608	156,564

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科　目	当　期 2009.4.1～2010.3.31	前　期 2008.4.1～2009.3.31
④ 営業活動による キャッシュ・フロー	166,577	28,640
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 51,790	△ 266,180
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 56,336	△ 50,063
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 379	3,770
現金及び現金同等物の増減額	58,070	△ 283,834
現金及び現金同等物の期首残高	1,004,115	1,287,950
現金及び現金同等物の期末残高	1,062,186	1,004,115

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書　当期（2009.4.1～2010.3.31）

（単位：千円）

	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
2009年3月31日　残高	399,818	290,198	919,175	1,609,191	△ 2,549	△ 2,911	△ 5,461	1,603,729
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 52,380	△ 52,380				△ 52,380
当期純利益			105,608	105,608				105,608
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					766	△ 286	479	479
連結会計年度中の変動額合計	—	—	53,228	53,228	766	△ 286	479	53,708
2010年3月31日　残高	399,818	290,198	972,404	1,662,420	△ 1,783	△ 3,198	△ 4,982	1,657,438

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表
NON-CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

個別貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科　目	当　期 2010.3.31現在	前　期 2009.3.31現在
資産の部		
流動資産	1,805,096	1,717,829
固定資産	512,026	536,612
有形固定資産	39,881	49,309
無形固定資産	144,933	119,327
投資その他の資産	327,210	367,975
資産の部合計	2,317,122	2,254,441
負債の部		
流動負債	540,647	533,404
固定負債	123,804	112,099
負債の部合計	664,452	645,503
純資産の部		
株主資本	1,654,453	1,611,487
資本金	399,818	399,818
資本剰余金	290,198	290,198
資本準備金	290,198	290,198
利益剰余金	964,437	921,471
利益準備金	14,434	14,434
その他利益剰余金	950,002	907,036
評価・換算差額等	△ 1,783	△ 2,549
その他有価証券評価差額金	△ 1,783	△ 2,549
純資産の部合計	1,652,670	1,608,937
負債・純資産の部合計	2,317,122	2,254,441

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科　目	当　期 2009.4.1～2010.3.31	前　期 2008.4.1～2009.3.31
売上高	3,975,420	4,291,093
売上原価	2,170,301	2,286,361
売上総利益	1,805,118	2,004,732
販売費及び一般管理費	1,581,256	1,666,758
営業利益	223,862	337,973
営業外収益	3,613	4,957
営業外費用	—	1,288
経常利益	227,475	341,642
特別利益	650	—
特別損失	37,263	120,048
税引前当期純利益	190,862	221,593
法人税、住民税及び事業税	98,600	137,300
法人税等調整額	△ 3,083	13,823
当期純利益	95,346	70,470

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別株主資本等変動計算書　当期（2009.4.1～2010.3.31）

（単位：千円）

	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
2009年3月31日　残高	399,818	290,198	290,198	14,434	907,036	921,471	1,611,487	△ 2,549	△ 2,549	1,608,937
事業年度中の変動額										
剰余金の配当					△ 52,380	△ 52,380	△ 52,380			△ 52,380
当期純利益					95,346	95,346	95,346			95,346
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）								766	766	766
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	42,966	42,966	42,966	766	766	43,732
2010年3月31日　残高	399,818	290,198	290,198	14,434	950,002	964,437	1,654,453	△ 1,783	△ 1,783	1,652,670

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株式の概況 & 会社概要
STOCK INFORMATION & CORPORATE PROFILE

株式の状況（2010.3.31現在）

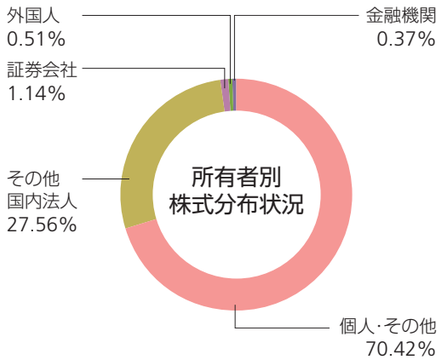
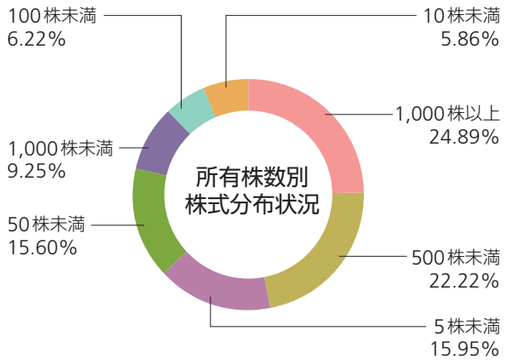
- 発行可能株式総数　51,400株
- 発行済株式総数　13,095株（自己株式はありません）
- 株主数　1,550名
- 大株主（上位10名）

株主名	持株数
株式会社ウィザス	3,260株
東郁男	697
池亀秀雄	514
重田康光	447
淺見和宏	424
岩崎泰次	297
翻訳センター従業員持株会	296
角田輝久	264
二宮俊一郎	239
礒野由美子	234

会社概要（2010.3.31現在）

- 商号　株式会社 翻訳センター
- 設立　1986年4月
- 資本金　3億9,981万8,000円
- 従業員数　212名（連結）
- 事業内容　翻訳サービス業
- グループ会社　株式会社国際事務センター
  HC Language Solutions, Inc.
  株式会社HCランゲージキャリア
  北京東櫻花翻訳有限公司

役員

代表取締役	東郁男
取締役	二宮俊一郎
取締役	淺見和宏
取締役	角田輝久
取締役	池亀秀雄
取締役	中本宏
取締役	楠見賢二
常勤監査役	橘正宏
監査役	妙中厚雄
監査役	松村信夫

株式分布状況